

今年度テーマ

親子で考える「子ども自身が自分の身を守るように」

## 令和4年度『通学路改善提案』 結果報告

### ① 赤松中央通りの路駐について

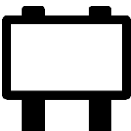
歩道に沿って、オレンジ色のポール（ポストフレックス）を設置してもらう事ができました。歩道を確保して、歩行者が少しでも安全に通行するための設置ですが、実際設置されていかがですか？

赤松中央通りを利用されている方はご意見お待ちしております。



### ② 国道一号線赤松歩道橋下看板設置について

現在看板を検討中です。設置する事で視界が遮られてしまう恐れがあるので、高さを相談しています。



### ③ 赤羽根中学校南側交差点付近の歩道について

ガードレールを設置できない細い部分にグリーンベルトを引くことになりましたが、順番待ちのため、年度明けになる予定です。

また、スピード抑制看板を目立つ位置に移設予定です。



じどう みな まいにち とお みち ひ としき じょうきょう きげん へんか  
 児童の皆さんへ 毎日 通る道でも、その日、その時の状況によって危険は変化します。

しんごうあお くるま じてんしゃの としき だす  
 信号が青でも車がきていないかな？ 自転車で乗っている時、スピードを出し過ぎていないかな？

なな おうだん としき うし かくにん ちゅうい こと  
 斜めに横断する時、後ろも確認しているかな？ 注意する事はたくさんあります。

じぶん きげん かいひ ひと おも  
 自分で危険を回避できる人になってほしいと思っています。

いま がっこうまわ こうじ ばしょ あんぜんとか  
 今、学校の周りでは工事をしている場所もあります。どうしたら安全に通れるか、

かんが うち ひと はな  
 考えたり、お家の人と話してみてください。



**飛び出し注意**

沢山の方にご協力いただき、子ども達の交通安全・防犯が守られています。今回はそのひとつ、看板取付までの流れをご紹介します！

今後もお気付きの事がありましたら、こわだ会メールまでご連絡ください！

## とびちゅう君が取り付けられるまで

①みんなで相談。

「黄色看板、どうする～？」  
 「こんな見つけたよ！」  
 「無料だって！」



②注文してみよう！

「誰か、頼んでくれる人いる～？」  
 「いいよ！」  
 「ありがとう」



③届いたけど、取り付けるには許可が必要！地域の方とお願いに。快諾してくださいました。

「付けてもいいですか？」  
 「いいよ！」  
 「ありがとう  
 ございます！」



④取り付けるって言っても…頑丈にしないと飛ばされたら危ないよ！地域の方のご厚意で、板で補強！

「ありがとうございます！」



こんな風に、看板をひとつ取り付けるだけでも沢山の方が関わってくださっています。時間もかかります。子ども達のために動いてくれてる人がいることを知ってもらえたら嬉しいです。一人で全部はできません。でも、沢山いれば一人の負担は少なくなります。子ども達のために皆で少しずつ動きませんか？ ご参加待ってます。

⑤ついに取付完成！！

ご協力くださった皆さま、ありがとうございました！



## 校外委員会 活動の感想♪

今年度、初めて校外委員の活動に参加しました。

一番感じたのは、先生や保護者だけでなく、多くの地域の方々に助けられて学区内の安全が守られているということです。

通学路の点検や、交通安全教室を行う際など、たくさんの地域の方々が参加してくださり、学区内の安全について沢山話し合いました。

子ども達のことを、とても考えて下さっていて、本当にありがたいと思いました。

また、登校時見守り隊では、8の付く日に保護者が見守りをしていますが、その他の日毎日旗振りをしてきている地域の方々がいらっしゃいます。

いち保護者である私ができることは、とても小さなことしかありませんが、これからも皆さんに助けをもらいながら、子ども達のために活動していけたらと思います。



校外委員になって3年経ちました。やればやる程、地域の色々な事を知ることができます。自分の住んでいる街を大切にしたいと思うようになりました。

フルタイムで働きながらも続けられるのは「無理なくていい」からです。

それぞれのできる範囲で活動すればいいので、興味があったら一度参加してみませんか？

思っていたのと違ったり、無理!と思ったら辞めてOKです!

楽しみながら、子ども達のためになること、地域のためになること、みんなでやりませんか？



校外委員を始めて3年…子どもたちが事故にあわないように、親が子どもにしてあげられる事と  
思ってきましたが、子ども自身が危険を察知し行動していける様に、子どもたちや保護者の方たちに  
伝えていければと思っています。

通学路改善提案は、春に保護者からの気付いたところを挙げてもらう事から始まり、合同点検では、  
地域、市役所、警察、学校、校外委員で通学路を点検しながら検討し、子どもたちの安全を目指し  
た通学路に今出来る事でしてもらっているなぁと実感しています。

今年校外委員7人、初めましてのお母さんやお父さんも加わってやってきましたが、  
思っている事などを議論したり活動するのはとても新鮮で楽しく、  
知り合いも増えて素敵な一年になりました。



校外委員の募集は4月を予定していますが、いつでもお問い合わせください！

今年度、初めて校外委員になりました。働きながら私にできるのかだいぶ不安はありましたが、「できる時に、できる人が、できることを」というこわだ会のスローガンに救われました。

子ども達の安全な通学路、安全に登下校できるようにこんなにも校外委員が活動していたことに驚きました。

実際の通学路を歩いてまわり、危険箇所を地域の方々と一緒に確認したことで情報共有にもなり、地域で子ども達を守ってくれているんだなぁと感じました。

胸を張れる程、活動に参加することはできませんでしたが、校外委員をやってみて子ども達の安全、どうやって守っていくか！考えられた一年でした。



校外委員の活動に参加してみて、一番に感じたことは、より子ども達自身が安全に登下校することを第一に考えていることに驚かされました。

校外委員だから当たり前では？と思うかもしれませんが。しかしながら、自分の住む地域以外の通学路まで把握し、時にはその場に足を運び、問題点や注意点を持ち帰りまた話し合い、考え、改善案を出していく...そんな繰り返しの中で終わりの無い『安全』を探求していく、本当に今まで自分の子どもも陰ながらサポートしてもらっていたんだな、とてもありがたく、そして私も陰ながら活動に参加することで少しでも子どもたちの安全に寄り添いサポートしていけたらな、と活動してきました！

今年で卒業なので最後の1年でとても良い経験ができ卒業後も子どもたちを影ながら見守り続けていきたいと思っています。



校外委員を通じて、こどもたちが安心して歩ける通学路とは何か、その実現には何をすべきかを、保護者や地域の方々と一緒に考えることができ、とても良い経験となりました。

ハイリッヒの法則によれば、1件の重大な事故の背景には300件のヒヤリハットがあると言われています。

子どもたちや保護者、地域の方々から、普段の生活で感じる『危ない!』をたくさん教えていただくことが、交通安全の第一歩につながると思いました。

通学路の交通安全に向け、私も改めて、家族で話してみようと思います。  
1年間、ありがとうございました。

